



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第31号

2019年4月発行

案内表示をリニューアルしました

この度、新たに天吊り誘導サインや床サインを設置し、室名サインやフロア案内サインなどを改修しました。

目的場所までの案内がよりわかりやすくなりました。



天吊り誘導サイン



室名サイン



床サイン



血液内科のお話

血液内科は、血液を構成する赤血球や白血球、血小板（及びそれを造る細胞）に由来する病気を主に診療します。

血液のがんは、白血病のように一見すると「かたまり」はないけれど、全身を巡る血液の細胞ががんになっている病気もあれば、リンパ腫のように「かたまり」を作るものもあります。また、「かたまり」がヶ所しかなく見えても最初から遠く離れた場所に病変を作っていることがほかのがんより多いことから、治療は手術ではなく主に抗がん剤で、ときには放射線を組み合わせて行います。

幸い、血液のがんは抗がん剤や放射線がよく効きます。近年ではがん化する原因の物質をピンポイントに抑える薬や、体が持っている免疫システムをうまくがんに向けさせる治療などが次々と実用化されています。

これらの治療を行っている当院の血液内科は、厚生労働省が毎年発表する入院件数データで、悪性リンパ腫では大阪府下で5番目の入院治療実績となっています。（2017年度）

今年4月からは新たな常勤医師を迎え入れ、常勤医4名＋専攻医1名の5名体制で診療を行ってまいります。

患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

血液のがんについて

競泳選手の池江璃花子さんが白血病を公表したニュースを聞いて驚かれた方も多いのではないのでしょうか。一般に「血液のがん」と呼ばれる腫瘍には白血病のほかに多発性骨髄腫や悪性リンパ腫などがありますが、その中で最も多い病気が悪性リンパ腫です。



悪性リンパ腫とは

血液中には赤血球（酸素を運ぶ）や、白血球（免疫をつかさどる）、血小板（出血を止める）などの血液細胞があります。悪性リンパ腫は血液細胞に由来するがんの1つで、白血球の一種であるリンパ球ががん化した病気です。

【種類】

いくつかの種類があり、分類方法も様々ですが、細胞の性質（顕微鏡で細胞を調べる病理学検査で診断）と進行スピードから大きくは下記の2つに分類され、低悪性度リンパ腫と中・高悪性度リンパ腫に分けて治療方針を考えることになります。

- ・ホジキンリンパ腫
リード・シュテルンベルク細胞またはホジキン細胞
- ・非ホジキンリンパ腫
多くの種類に分けられるが、大きくは3つのタイプ

悪性度	主な非ホジキンリンパ腫
低	MALT（モルト） 大顆粒リンパ性 など
中	びまん性大細胞型 マントル細胞 など
高	リンパ芽球型 バーキット など

皆さまは「がん」と聞くと、「早期発見、早期治療」という原則を思い浮かべられるのではないのでしょうか。

進行が早い「高悪性度リンパ腫」はこの考えの通り、発見したら即治療が原則なのですが、進行が遅い「低悪性度リンパ腫」では必ずしもそうではなく、体に不都合な症状が出るまでは敢えて治療を行わずに経過をみるという方針が取られることもあるのです。一方で、症状が出てきた「低悪性度リンパ腫」では治療を行うのですが、しばらくして病気が再発してしまうことがあります。

【治療法】

低悪性度リンパ腫の治療においては近年、新しい治療が可能になってきました。

ひとつは、昨年からは保険適用となった新しい抗体薬（ガザイバ）と抗がん剤（トリアキシン）の組み合わせで、従来の治療に比べて成績が向上しています。

もうひとつは、抗体薬に微弱な放射線を発する物質を組み込んだ薬（ゼヴァリン）です。ゼヴァリンは優れた効果や安全性を有するほかに、他の治療法に比べて治療期間が短くて済み、2週間の入院1回で治療が完了します。仕事を続けながらでも治療がしやすい薬剤の一つです。また、効果が大きい一方で副作用が少ないという優れた特徴があるものの、これまでは使える病院に限られていました。当院では本年5月よりこのゼヴァリンが使用可能となり、北摂では大阪大学医学部附属病院に次いで2ヶ所目の治療可能施設となります。



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

4階東病棟の紹介

4階東病棟は、血液内科や小児科などの混合病棟です。

血液内科は、リンパ腫や白血病などの治療として化学療法を行います。化学療法は抗がん剤を使用した治療で、多くは点滴での治療となります。病棟担当薬剤師とともに管理を行い、安全な治療が受けられるよう支援しています。



名前や薬に間違いはないです。
時間通りに投与をお願いします。
(副作用)〇〇に注意して下さい。

薬剤の取り扱い時に
看護師は
手袋・ゴーグル・エプロン
を着用します。

抗がん剤による影響で免疫力が低下すると、感染予防のためにクリーンルームで過ごすこともあります
(その場合、面会が制限されます。)



小児科は、地域のかかりつけ医院からの紹介が多く、ご家族の支援を得ながら早期に退院できるよう医師と協力して治療を行います。

入院生活という強いストレスの中、お子さまが安心できる環境を作るためにはご家族の協力が欠かせません。両親・祖父母を含めたご家族やお子さまとのコミュニケーションを大切にしています。



テープ貼るだけだから
痛くないよ～

お母さん抱っこで
がんばろうね！



新任医師紹介



氏名
柴田 大
診療科
血液内科

少しずつできることからやっていきたいと思います。



氏名
立川 琴羽
診療科
放射線治療科

4月から放射線治療を担当させていただきます。怖いイメージを持たれている方の多い治療ですが、しっかりと説明して安心して受けて頂けるよう努力します。よろしくお願いいたします。



氏名
宮本 直
診療科
整形外科

上肢と外傷を専門としています。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名
金城 孝則
診療科
泌尿器科

大阪警察病院から赴任しました。患者さんのお気持ちに添った医療を提供できるように頑張ろうと思います。よろしくお願いいたします。



氏名
島越 洋美
診療科
消化器内科

阪大病院より赴任してきました。よろしくお願いいたします。



氏名
影山 美沙紀
診療科
救急総合診療部

未熟者ではございますが、日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします。



氏名
藤田 三千恵
診療科
麻酔科

研修病院に帰ってこられて嬉しいです。がんばりますので、よろしくお願いいたします。



氏名
土橋 裕允
診療科
産婦人科

謙虚さが取り柄です。よろしくお願いいたします。



氏名
辻井 悠里
診療科
消化器内科

内視鏡のスキルアップや専門科の知識向上に努めていきます。よろしくお願いいたします。



氏名
岡本 明之
診療科
消化器内科

1年間専攻医としてお世話になります。よろしくお願いいたします。



氏名
江口 聡
診療科
消化器外科

阪大病院から後期研修医として赴任させていただきました。精一杯頑張りますので、皆様ご指導の程よろしくお願いいたします。



氏名
常松 俊鷹
診療科
整形外科

大阪のミナミのほうで研修していました。池田市のみなさまに少しでもよりよい医療を届けられるよう努めてまいります。

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、ご意見・ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会